

歴史的仮名遣い・行書の特徴・部首

中学校

(1) 次は、兼好法師が書いた「徒然草」の冒頭の部分とその現代語訳です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

古文	現代語訳
つれづれなるままに、日暮らし、硯にむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。	何もすることがないままに、一日中、硯に向かつて、心に次々と浮かんでいくとりとめのないことを、ただなんとなく書き付けていると、不思議と気持ちが高ぶってくることであるよ。

- ① ―線部「あやしう」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ② 〓線部「よしなしごと」の意味を現代語訳から抜き出しなさい。

①	②
---	---

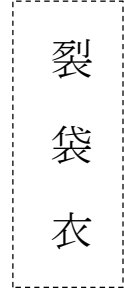
(2) 次の行書で書いた漢字の○で囲まれた部分の㉠と㉡の特徴として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つずつ選びなさい。



- 1 筆順の変化
- 2 点画の連続
- 3 点画の省略
- 4 点画の方向や形の変化

㉠	㉡
---	---

(3) 次の [ ] 内の三つの漢字と同じ部首に属する漢字を、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。



- 1 綿
- 2 帆
- 3 神
- 4 被

--

歴史的仮名遣い・行書の特徴・部首

解答

(1) 次は、兼好法師が書いた「徒然草」の冒頭の部分とその現代語訳です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

古文	現代語訳
つれづれなるままに、日暮らし、硯にむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。	何もすることがないままに、一日中、硯に向かつて、心に次々と浮かんでは消えていくとりとめのないことを、ただなんとなく書き付けていると、不思議と気持ちが高ぶってくることであるよ。

- ① — 線部「あやしう」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。  
 ② || 線部「よしなしごと」の意味を現代語訳から抜き出しなさい。

① あやしゅう

② とりとめのないこと

(2) 次の行書で書いた漢字の○で囲まれた部分の㉠と㉡の特徴として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つずつ選びなさい。



- 1 筆順の変化  
 2 点画の連続  
 3 点画の省略  
 4 点画の方向や形の変化

㉠ 2

㉡ 1

(3) 次の [ ] 内の三つの漢字と同じ部首に属する漢字を、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

裂袋衣

- 1 綿  
 2 帆  
 3 神  
 4 被

4